



山田 忠  
(みらいの会)

**農業振興について**

農業の中心的な担い手である基幹農業従事者はこの5年間で23%減少しています。このことは農業全体の衰退に繋がっており、農業者の生産意欲の減退に繋がりがかねないと見ています。今後、農業への支援策をどのように検討されているのかお尋ねします。

**市長**―農業を取り巻く環境はますます厳しいものとなつています。農業の持続的発展のために、国や県としっかり連携を取りながら、農業者にとって有益かつ実効性の高い様々な支援を実施していきたいと考えています。

米価が大幅に下落して生産意欲が低下している中、水田活用の直接支払交付金の見直しは農業経営を益々追い詰めるものですが、市の対応についてお尋ねします。

**環境経済部長**―今回の見直しは、今までの転作を奨励するということで米の生産縮小を図るとい

う考えではなく、生産性の向上と輸出を含む新市場を開拓し、国際競争力を高める狙いがあります。しかし、これまで転作に取り組み、持続的な水田農業に貢献した農家にとっては、かなり厳しい内容だと考えます。水田機能が弱体化し、既存の米農家への影響が出るのではないよう、助言や支援を行います。

近年、大雨や害虫被害等、自然災害が多く発生しており、農業収入の減少が心配される中、農業者の事業継続や地域農業の維持の観点から収入保険制度への加入は重要であると考えます。保険料の補助制度を含め加入促進についてお尋ねします。

**環境経済部長**―4年連続、計5回の豪雨災害を踏まえて、令和3年度限りで上乗せ支援を決定し、保険料の4分の3という高補助率での支援が実施でき、加入を促進することができました。加入の補助制度の再開については、慎重に考えていく必要があります。今後の検討課題とさせていただきます。と思います。



**常任委員会審査報告**

**総務文教常任委員会報告**

総務文教常任委員会を3月7日に開催し、付託された執行部提出案件9件を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

**令和4年度小郡市一般会計補正予算(第10号)の承認について(議案第19号)**

学校給食補助金4268万円の増額補正については、食材費等の高騰が続いていることを受け、令和5年度の学校給食費について、食材費の値上がり分を上乗せしても、保護者負担が増えないように、値上がり分を補助するものです。

**問：給食費の考え方について**

**答**：令和4年度に実施した学校給食運営委員会の中で、材料費の高騰を踏まえ、給食費の値上げが必要であるという意見で一致しました。令和5年度中に具体的な値上げ幅等の検討を行い決定することとしています。地方創生臨時交付金がなくなった後の補助については、大きな子育て支援施策の1つとして、実施計画に提案しているところです。

**第6次小郡市総合振興計画前期基本計画の策定について(議案第30号)**

令和5年度から8年度までの前期基本計画を策定するものです。主要な施策を体系化し、5つの基本政策のもとに、30の分野項目を定め、主要施策の中から新たに重点施策を位置付けています。市民アンケートやワークショップを実施して、市民からの意見、また議会からの提案を踏まえて、審議を重ね、パブリックコメントを経て、総合振興計画審議会から答申を頂き提案しています。

**問：成果指標の設定について**

**答**：各分野項目において基本目標、主要施策を設けていますが、達成を後から検証できるよう指標を設定しています。目標値については、こういった数値がいいのか担当課でも議論を重ね設定したものです。

**保健福祉常任委員会報告**

保健福祉常任委員会を3月8日に開催し、付託された執行部提出案件12件を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

**小郡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**

(議案第00号)

改正の1点目、児童の安全確保に関して、放課後児童健全育成事業所において安全に関する事項の計画策定を義務付けるもの。2点目、感染症や自然災害が起こった際の対応や業務の継続について、放課後児童健全育成事業所が、個々の施設状況に応じて業務継続計画策定に努めるものです。

**問：具体的な内容について**

答：学童保育所ごとに、安全計画を定めることとなります。施設の設備が安全であること。児童・保護者等が安全に施設で過ごせること。児童自身が安全や危険を認識し、災害や事故発生時等の約束事や行動について、習得できること。不審者対応についても定め、保護者と連携しながら学童保育所の中で安全に過ごせるように努めることとなります。

**小郡市インターネット上の人権侵害の防止等に関する条例の制定について（議案第17号）**

スマートフォンやSNSが普及し、誰もが簡単に情報の発信ができるようになる一方、誹謗中傷や差別書込み、プライバシー侵害等、インターネット上の人権侵害は深刻な状況となっております。必要な対策を実施するため制定するものです。

**問：行為者に対する取り組み、条例中**

**の助言、相談窓口について**

答：基本的には被害者の相談支援を考えています。行為者への相談にも応じる考えですが、行為者を生み出さないような教育啓発をしていきたいと考えています。助言については、1人で悩んでいる方々へのアドバイス等を考えています。相談窓口については、専門的な相談機関として法務省や総務省の相談窓口等の紹介を考えています。特別に窓口を設ける想定はありませんが、一般的な相談窓口等で相談を受けたいと考えています。

**都市経済常任委員会報告**

都市経済常任委員会を3月9日に開催し、付託された執行部提出案件6件を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

**専決処分を報告し、承認を求めることについて（令和4年度小郡市一般会計補正予算（第9号）（報告第1号））**

市内商店の消費喚起を図り、コロナ禍において原油価格高騰等の影響を受けている事業者を支援するとともに、非接触型の決済システムを普及させることを目的として、令和4年12月から令和5年1月で実施したキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンにつ

いて、当初の想定より執行見込みが多かったため、事業実施のために必要な経費を1294万円増額するものです。財源については、地方創生臨時交付金事業の実施計画に追加計上しています。

**問：非接触型の支払いができる店舗数について**

答：キャンペーンを実施する前のデータになりますが、auPAYが151店舗。d払いが214店舗。PayPayが470店舗、合計で延べ835店舗となります。しかし複数の事業者が使える店舗もありますので、実店舗数としては530店舗ほどです。

**令和4年度小郡市一般会計補正予算（第10号）の承認について（議案第19号）**

小郡市公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら、老朽化した遊具を新しくする工事を進めており、今年度、当初予算で計上していた分については、既に工事を完了しています。今回の公園施設長寿命化対策事業3千万円の増額補正は、当初、令和5年度に予算計上を予定していたものについて、今年度の国の補正予算を活用し、前倒しで工事するものです。

**問：対象公園の遊具の点検について**

答：市内全公園が対象ではなく、都市公園のみが対象となっています。日常点検は年に2回、シルバー人材セン

ターにお願いしています。また、定期点検は、年に1回専門業者に委託をしています。日常点検は、市内全公園の遊具を行っており、定期点検は、都市公園のみを行っています。

**人事案件**

**「農業委員会委員」**

小郡市寺福童 天本 守

**「人権擁護委員候補者」**

小郡市上西鯨坂 永利眞由美

**「人権擁護委員候補者」**

小郡市希みが丘 川野裕佳子

※ 全ての案件の審査内容につきましては、小郡市議会のホームページより、本会議及び常任委員会の録画映像からご覧いただけます。

また、市議会会議録もご覧いただけます。なお、令和5年3月定例会の会議録は、6月上旬頃よりご覧いただける予定です。